

令和3年度教育活動に関する職員アンケート（後期学校評価）

（学校経営・運営ビジョンの内容を評価の項目・観点とする）

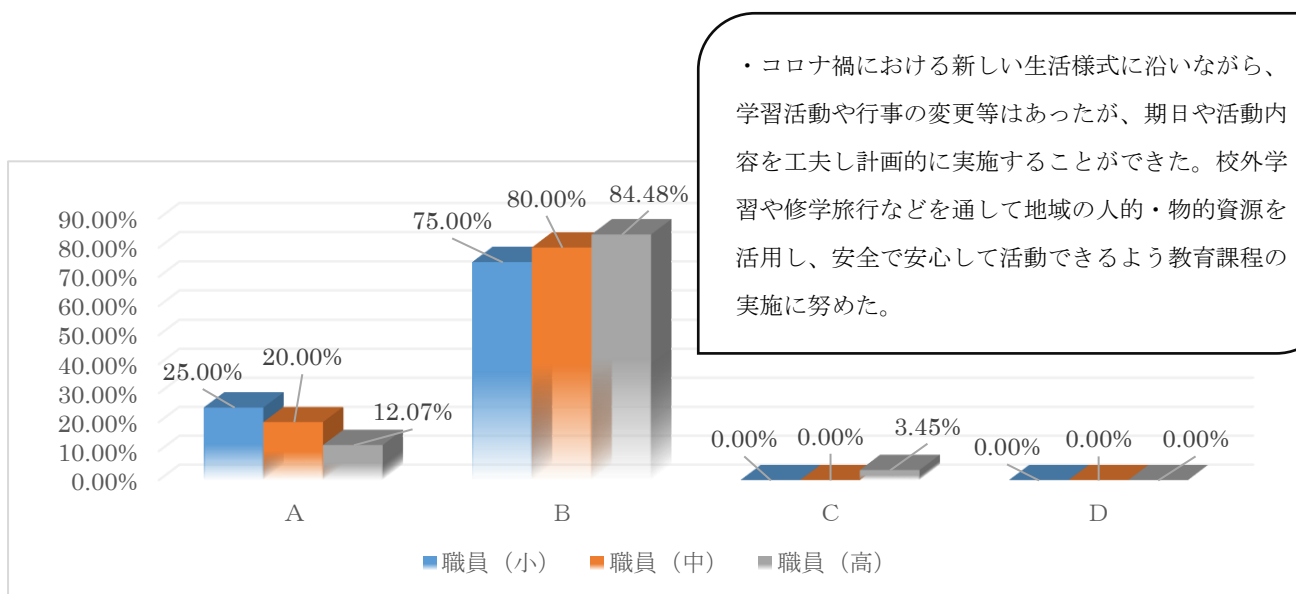
学校評価委員会

A…とてもよくできている B…よくできている C…あまりできていない D…できていない

重点目標・重点事項

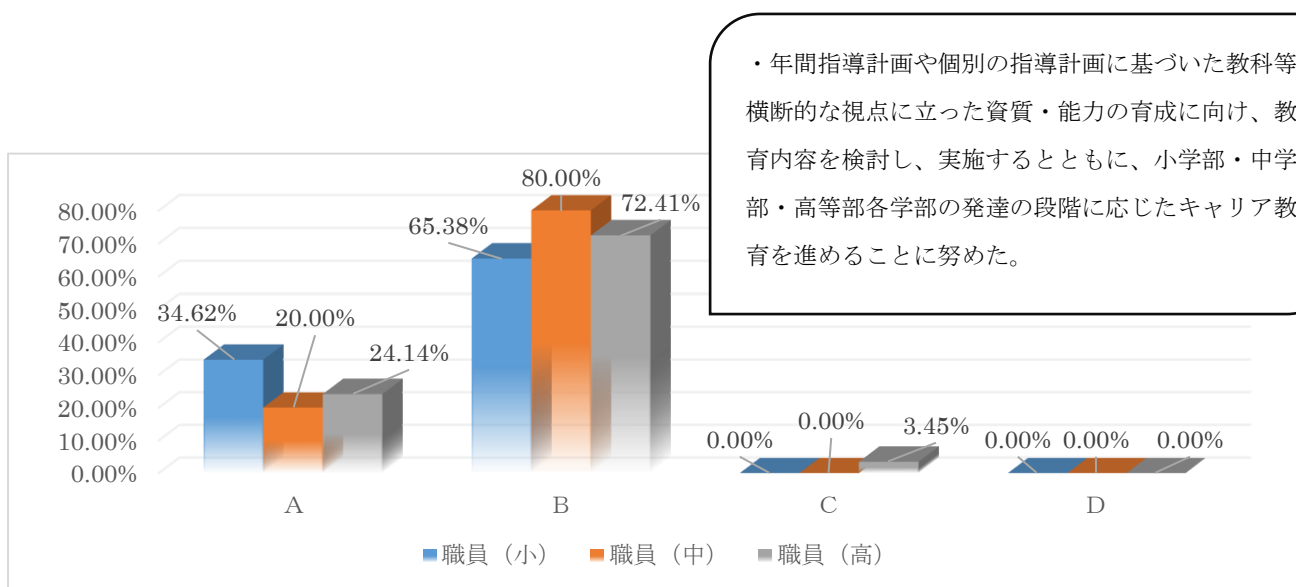
1【重点目標】

職員・・・地域の人的・物的資源を活用し、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、社会と連携・協働を図り、組織的・計画的に取り組んでいます。



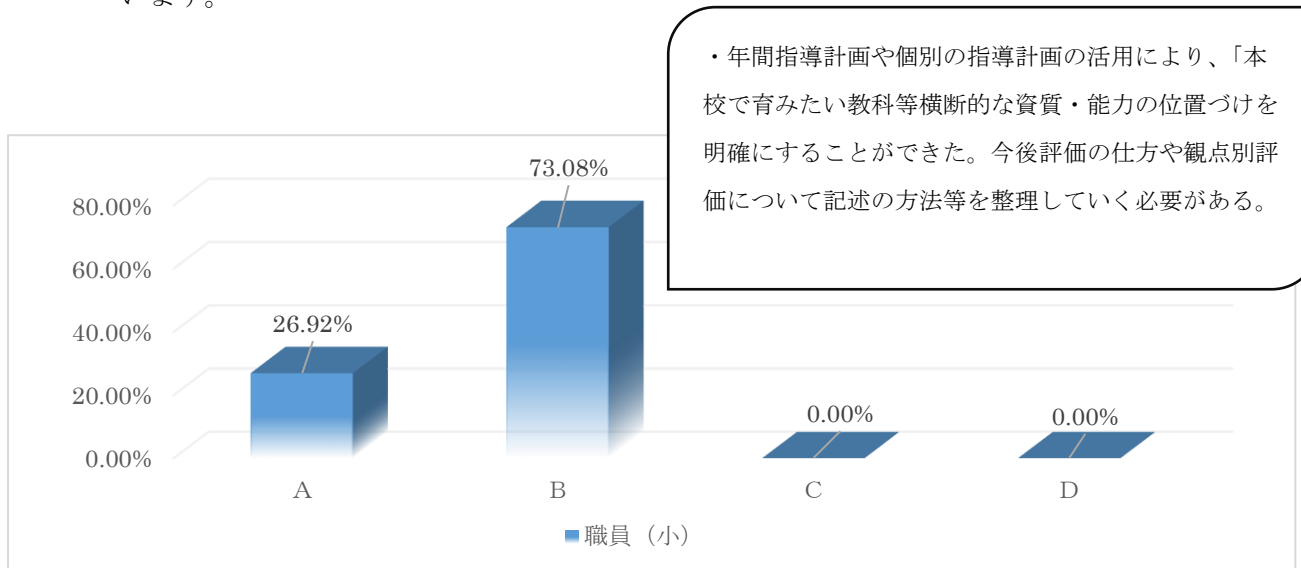
2【重点目標】

職員・・・教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成とキャリア教育の充実に努めています。



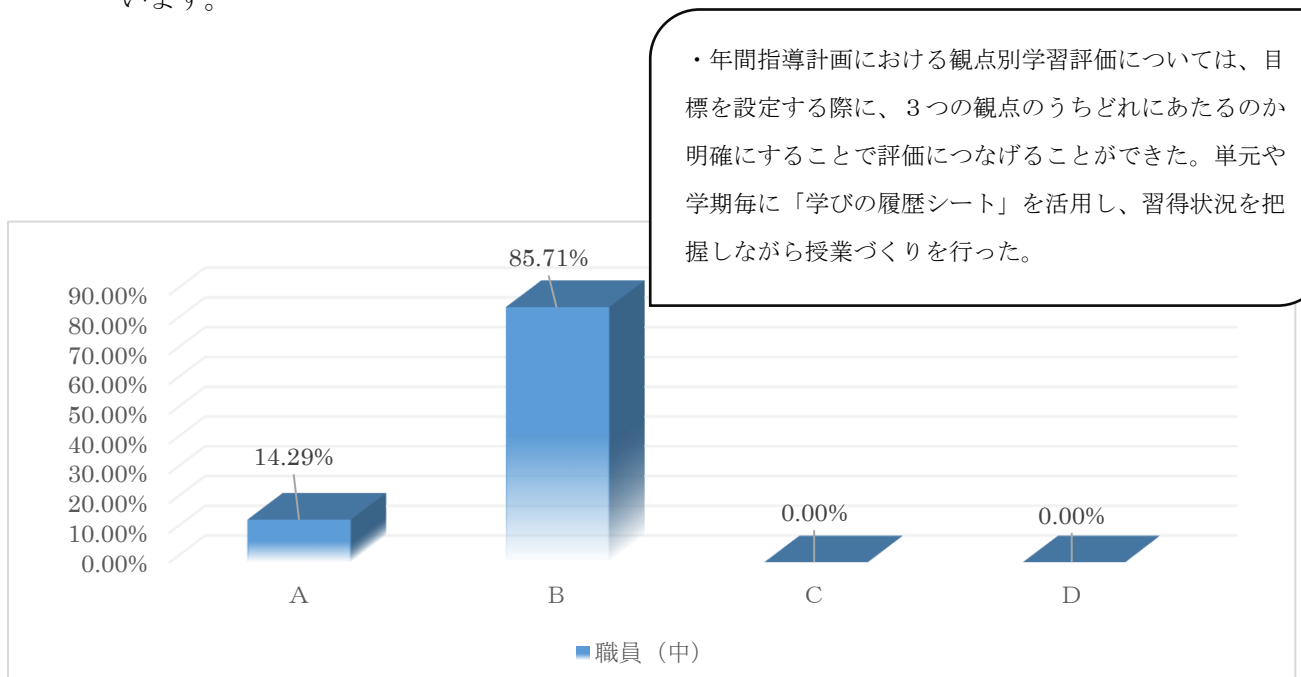
3 【小学部重点事項】

職員・・・年間計画を活用し、小学部6年間や卒業後の学習及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、教科等横断的な視点をもった授業づくりや観点別学習評価の充実に努めています。



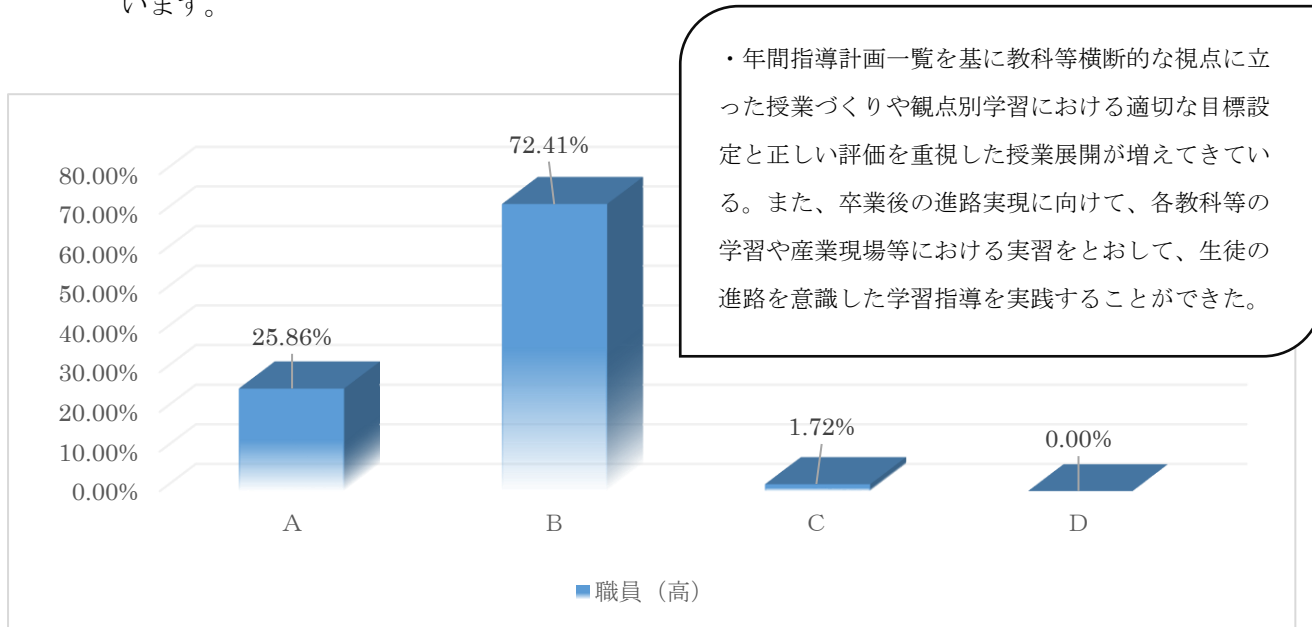
4 【中学部重点事項】

職員・・・年間計画を活用し、中学部3年間や卒業後の学習及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、教科等横断的な視点をもった授業づくりや観点別学習評価の充実に努めています。



5 【高等部重点事項】

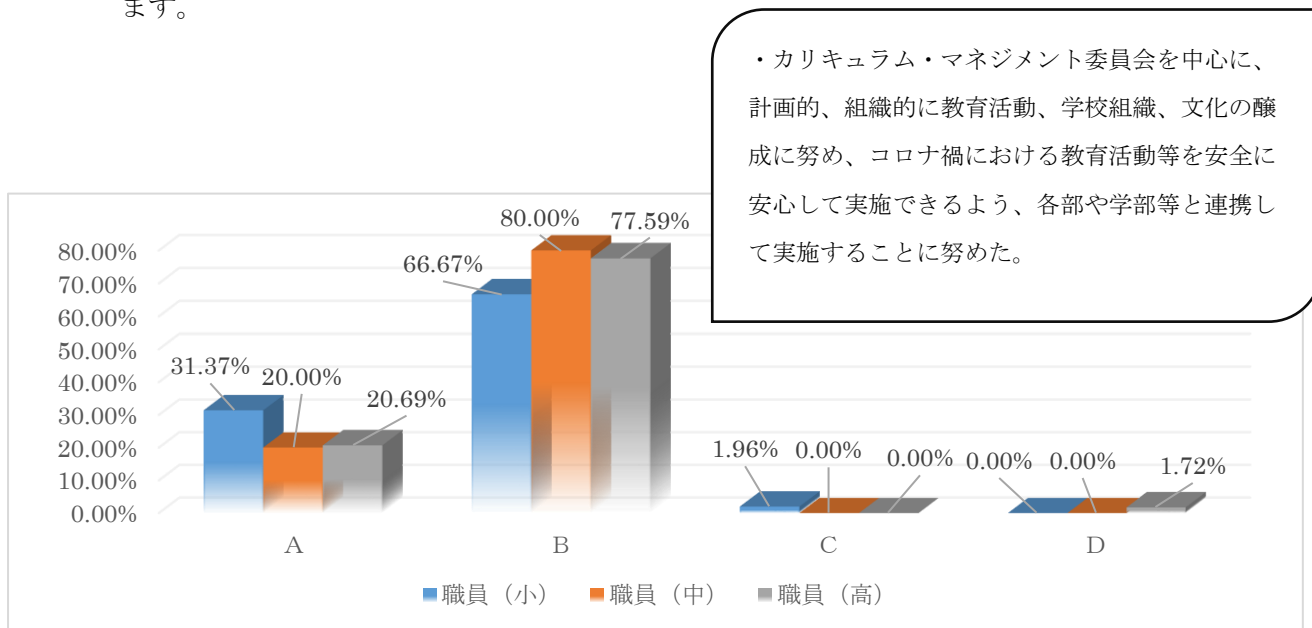
職員・・・年間計画を活用し、高等部3年間や卒業後の進路及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、教科等横断的な視点をもった授業づくりや観点別学習評価の充実に努めています。



教務

6 【カリキュラム・マネジメントの実践】

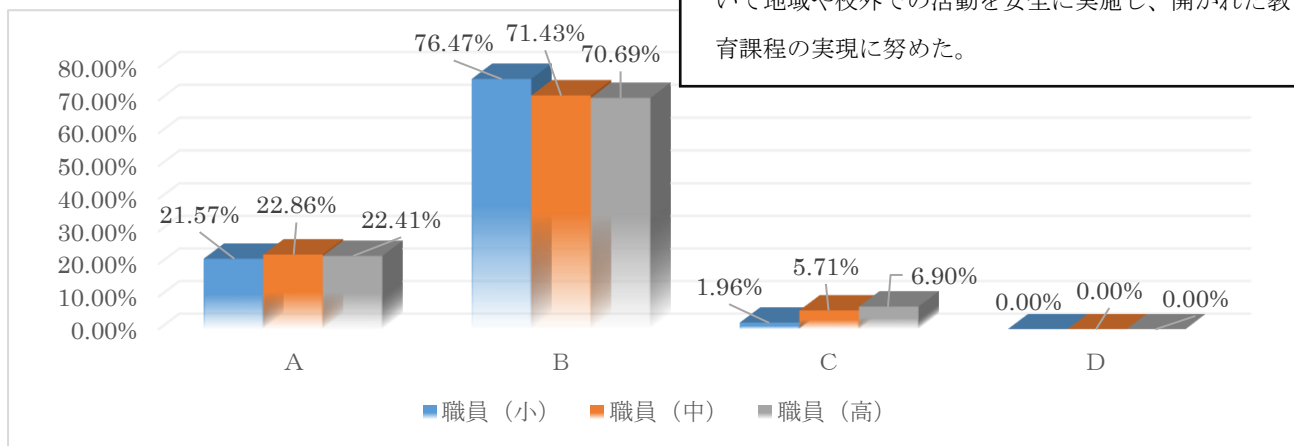
職員・・・卒業後の姿を見据えたカリキュラム・マネジメントの推進とともに、教育活動を組織として改善し、組織構造、学校文化の醸成を促し、学部及び各部等と連携・協働し教育活動を行っています。



7 【社会に「開かれた教育課程」の実現に向けた取組】

職員・・地域の人的・物的資源を活用し、社会との連携・協働を図り、組織的・計画的に教育活動を行っています。

・コロナ禍における新しい生活様式に沿った教育活動の見直し、活動内容の工夫や時期の変更などにより学習活動を進めるとともに、校外学習や修学旅行等において地域や校外での活動を安全に実施し、開かれた教育課程の実現に努めた。

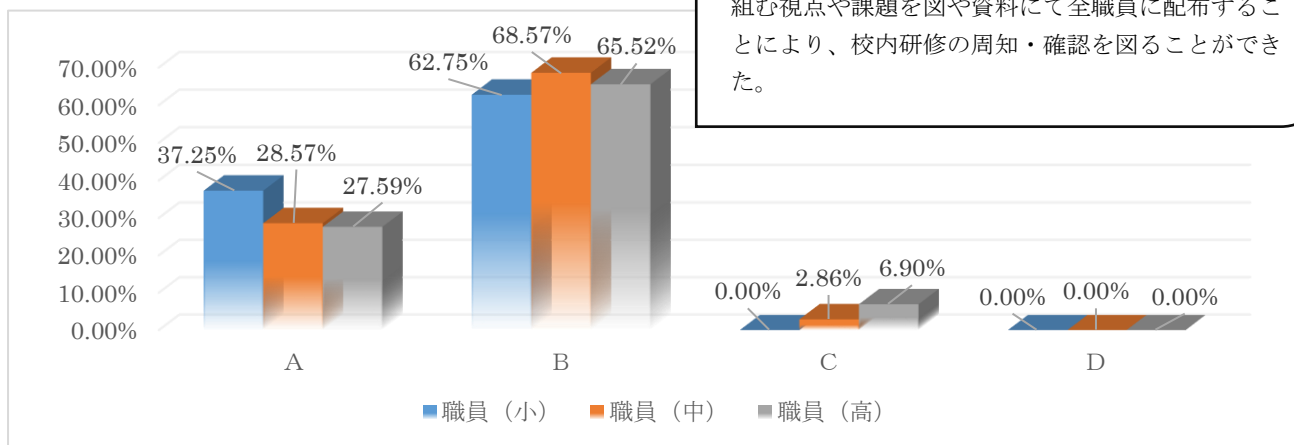


研修

8 【研究推進】

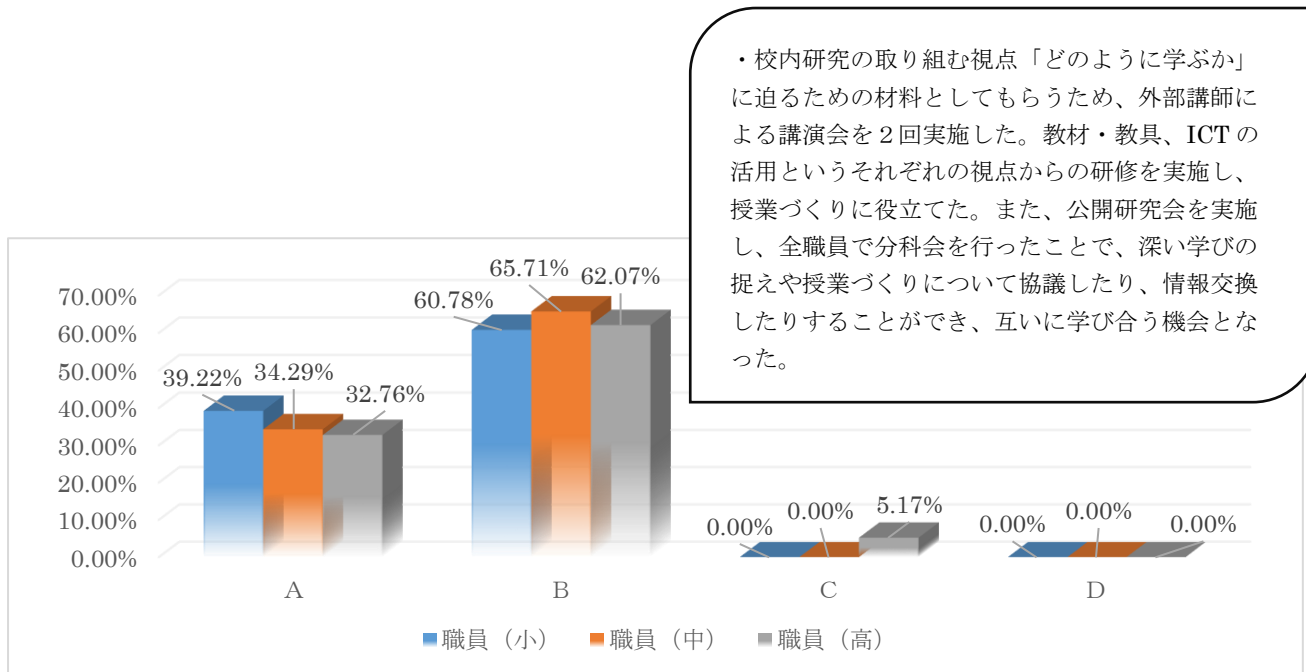
職員・・校内研究「深い学び」の実現を目指す授業づくり～「深い学び」による資質・能力の育成に向けて～について研究に取り組んでいます。

・2年次は個人研修を軸とし、グループ研修で個人の研修を深める時間を設定した。また、グループリーダー会を実施し、取組の進捗状況に応じて、取り組む視点や課題を図や資料にて全職員に配布することにより、校内研修の周知・確認を図ることができた。



9 【研究推進】

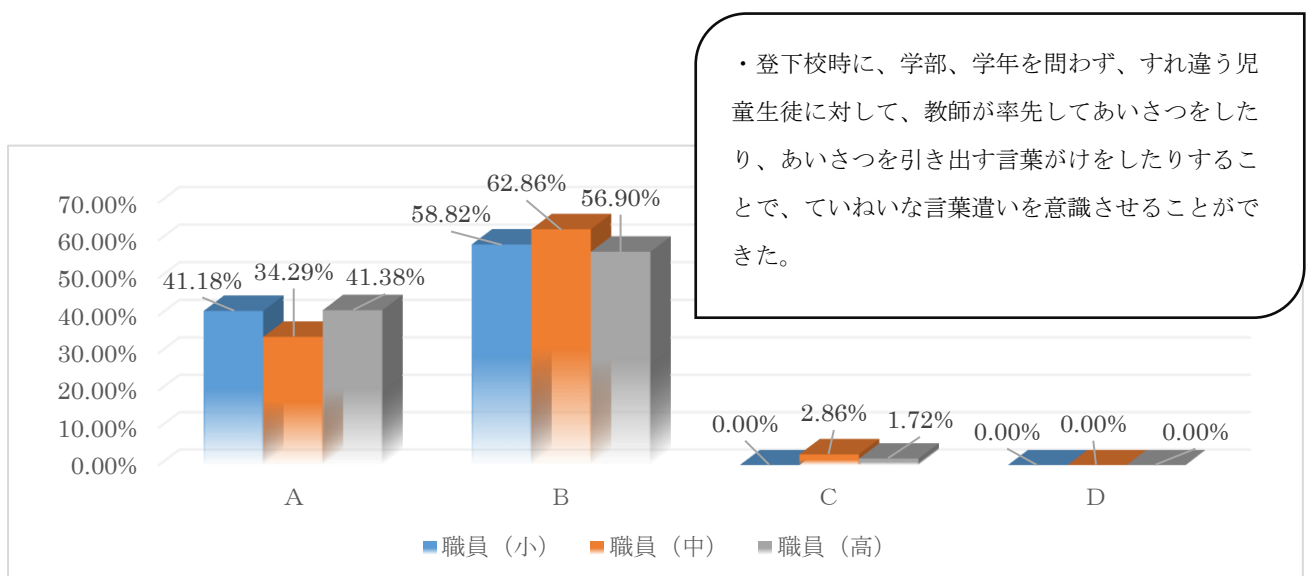
職員・・・専門性の向上を図ることができるよう研修ニーズに応じた学習会や授業づくり支援、校外研修、公開研修会等、本校教員が主体的に研修する環境の整備を行っています。



生徒指導

10 【地域・家庭との連携による社会性の育成】

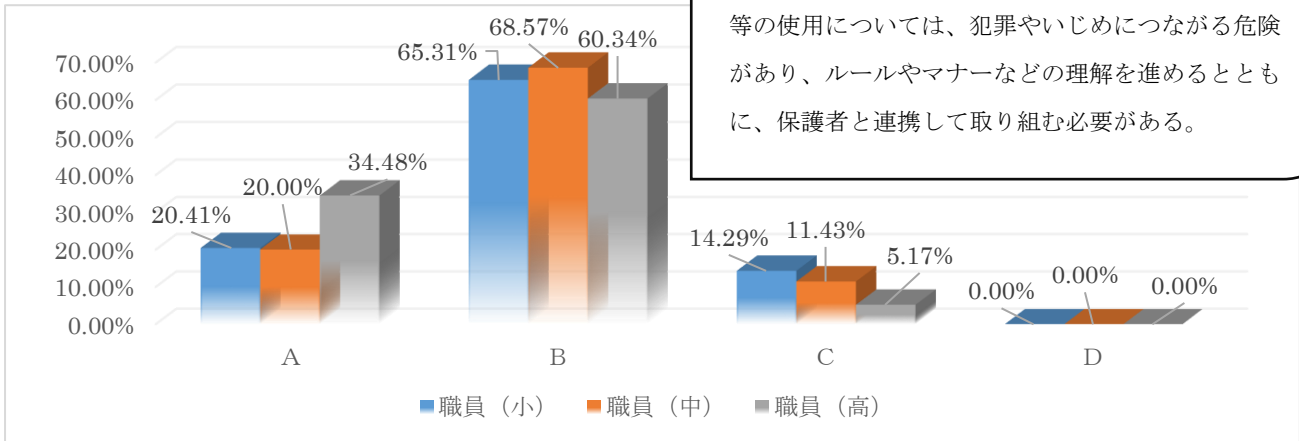
職員・・・あいさつの日を定期的に設定し、あいさつと丁寧な言葉づかいの実践に取り組んでいます。進んであいさつをする児童生徒を称え、意識を高めています。



11【生徒指導の改善・充実】

職員・・・携帯電話等使用のマナーとルールに関する指導の方法、内容を工夫し、適切に使用できるよう指導を行っています。

・高等部では、情報教育部と連携し情報モラル研修を複数回実施することにより、誤った SNS の利用によるトラブルを減少させることができた。携帯電話等の使用については、犯罪やいじめにつながる危険があり、ルールやマナーなどの理解を進めるとともに、保護者と連携して取り組む必要がある。

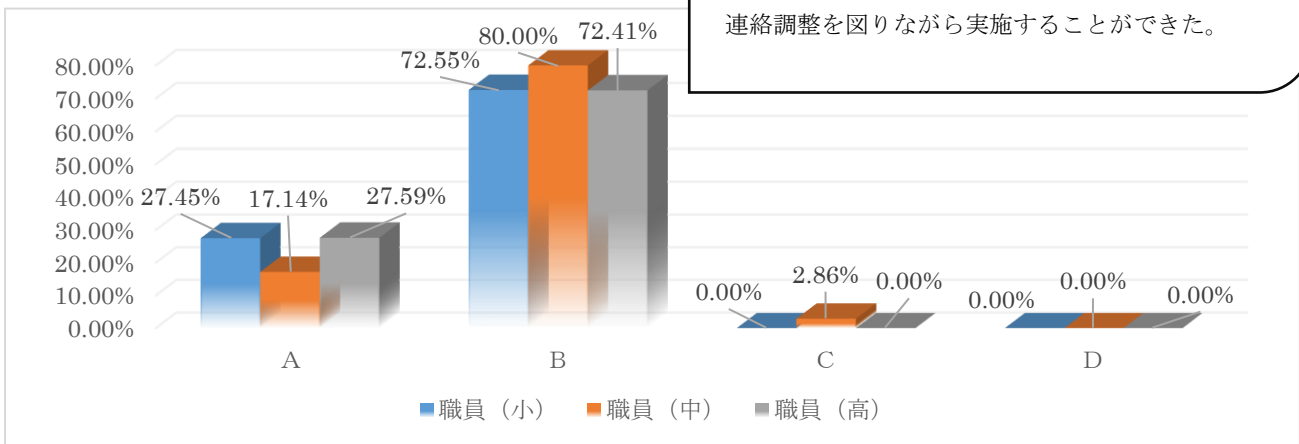


保健

12【保健指導の充実】

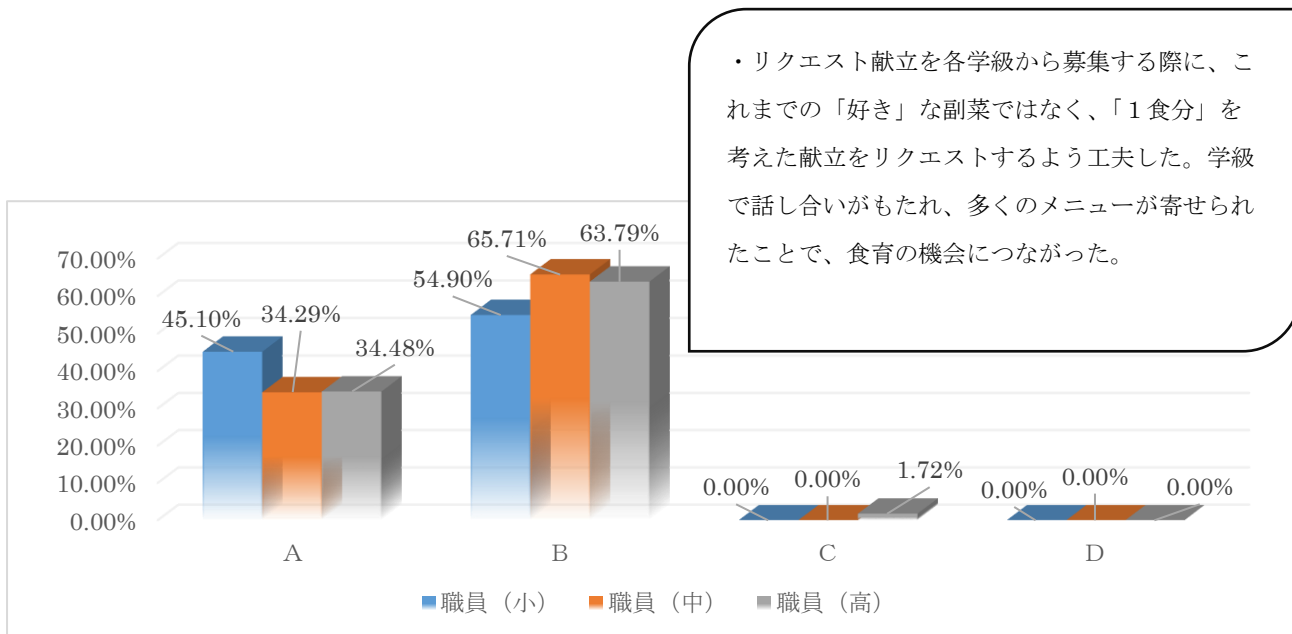
職員・・・関連する部署と連携を図り、発達の段階に応じた指導方法を工夫します。

・前期の保健指導アンケートから「男女のかかわり」の内容に絞って希望を募ったところ、多くの学級で希望があった。日程調整を行い、養護教諭と学級担任間で指導内容等について情報の共有や連絡調整を図りながら実施することができた。



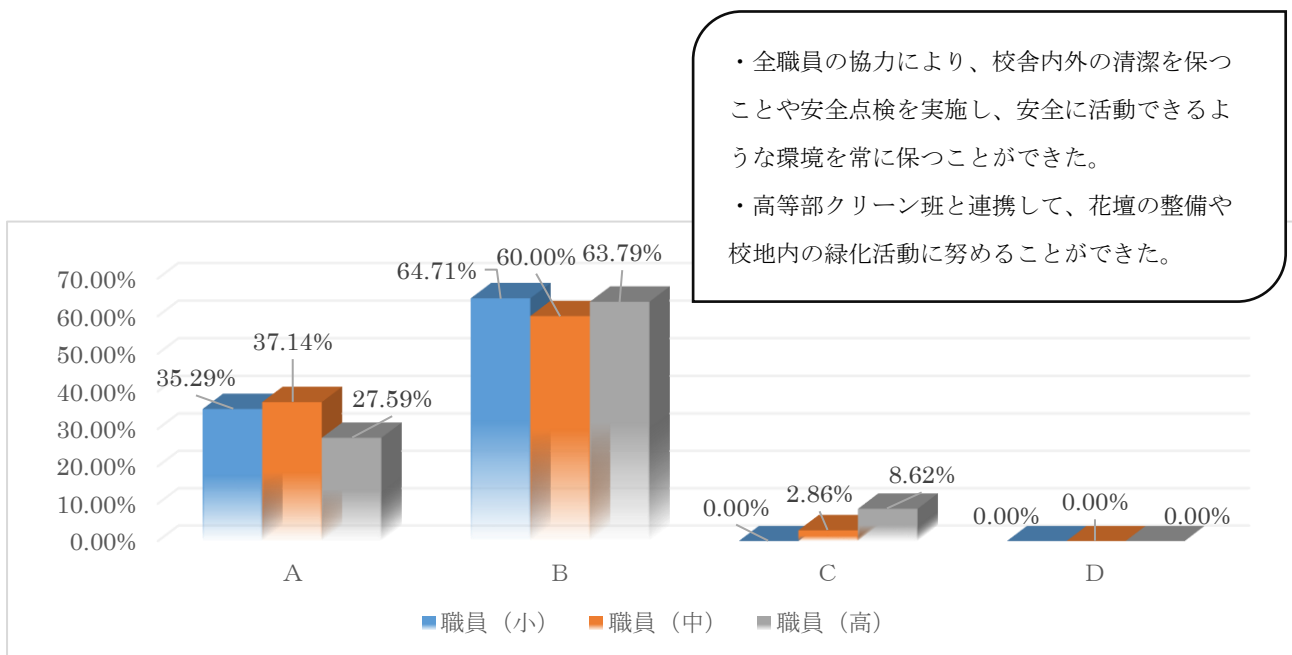
13 【給食指導の充実】

職員・・・安心安全に給食を提供し、食に関する指導において、摂食指導、食育の充実に努めています。



14 【学習環境の整備】

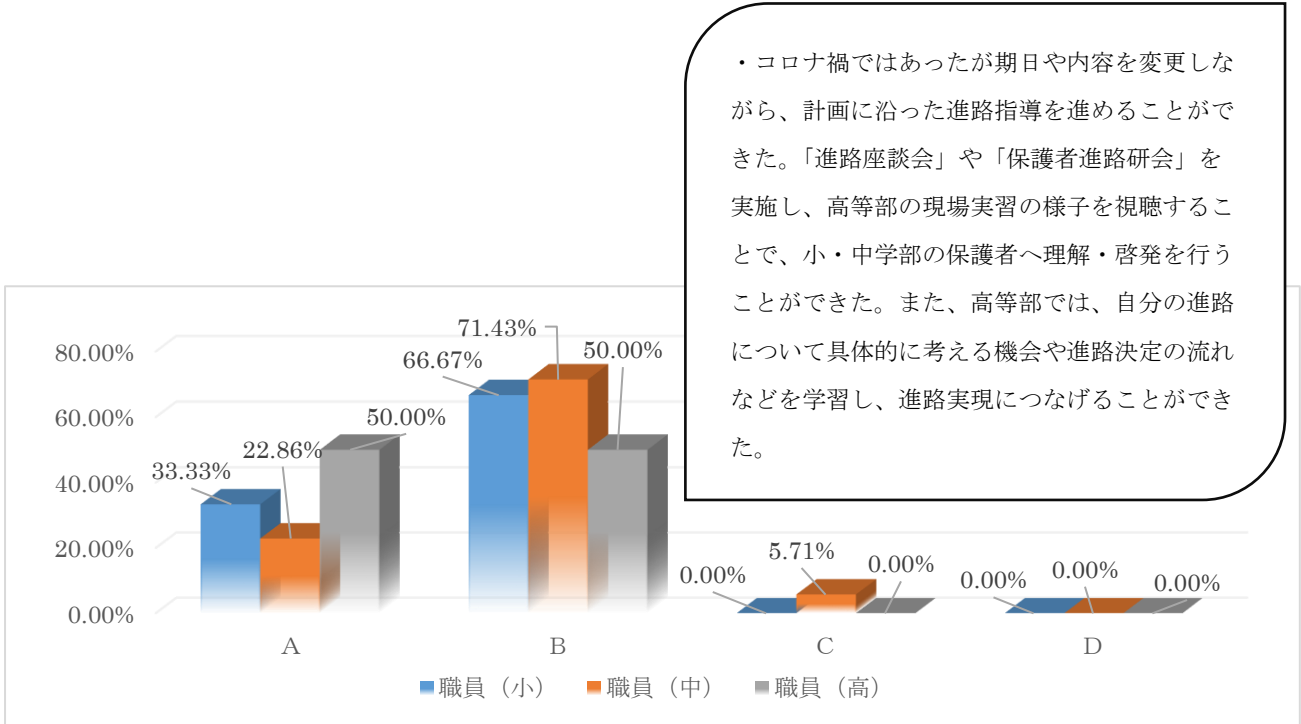
職員・・・清潔で安全な学習環境を整えるために校舎内外の美化に取り組んでいます。



キャリア支援

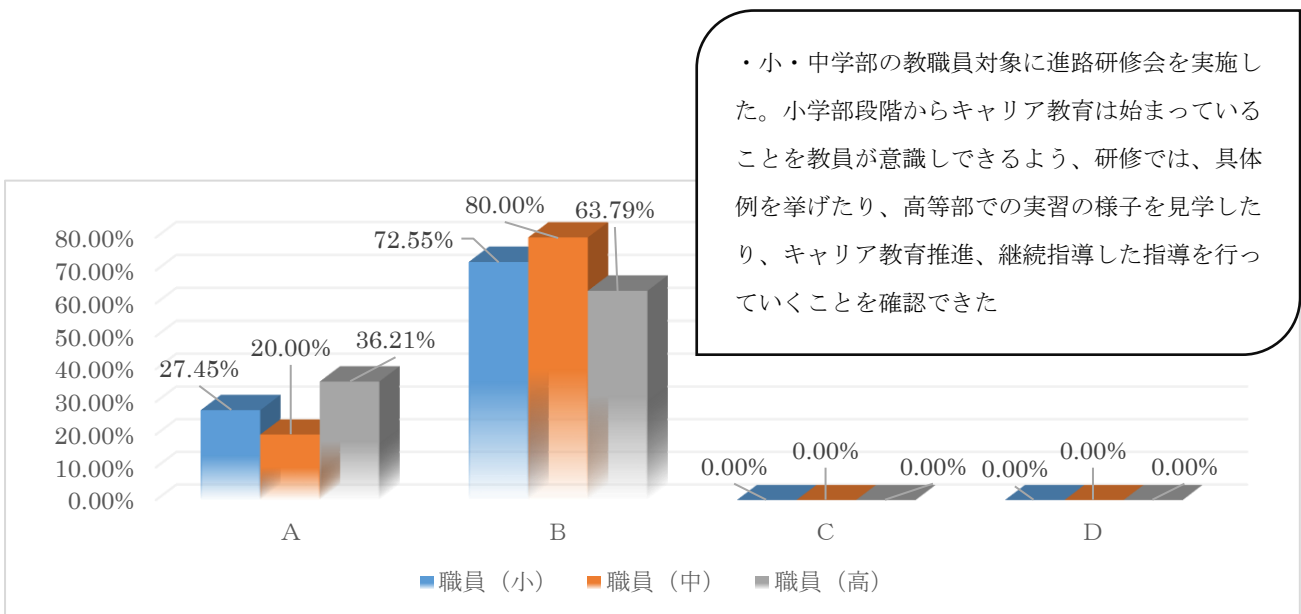
15【進路指導の充実】

職員・・関係機関との連携を図り、児童生徒一人一人に応じた進路指導を実施しています。



16【キャリア教育の充実】

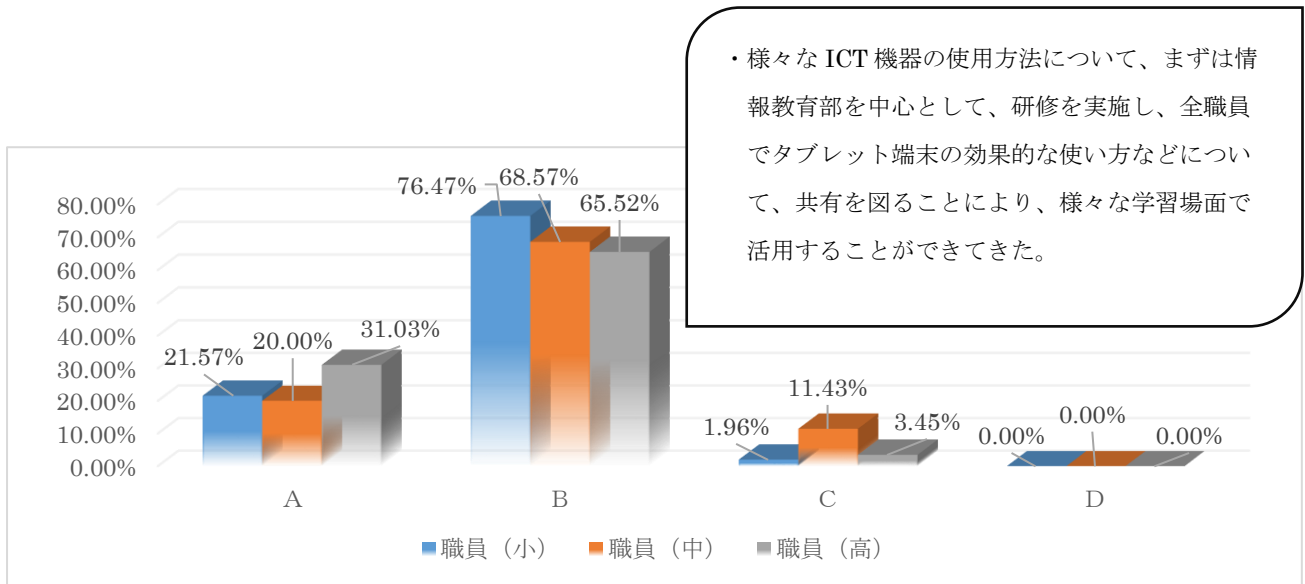
職員・・児童生徒の発達の段階や小・中・高の実年齢に応じたキャリア教育を推進し、「社会参加」や「働く意欲」について継続した指導を行っています。



情報教育

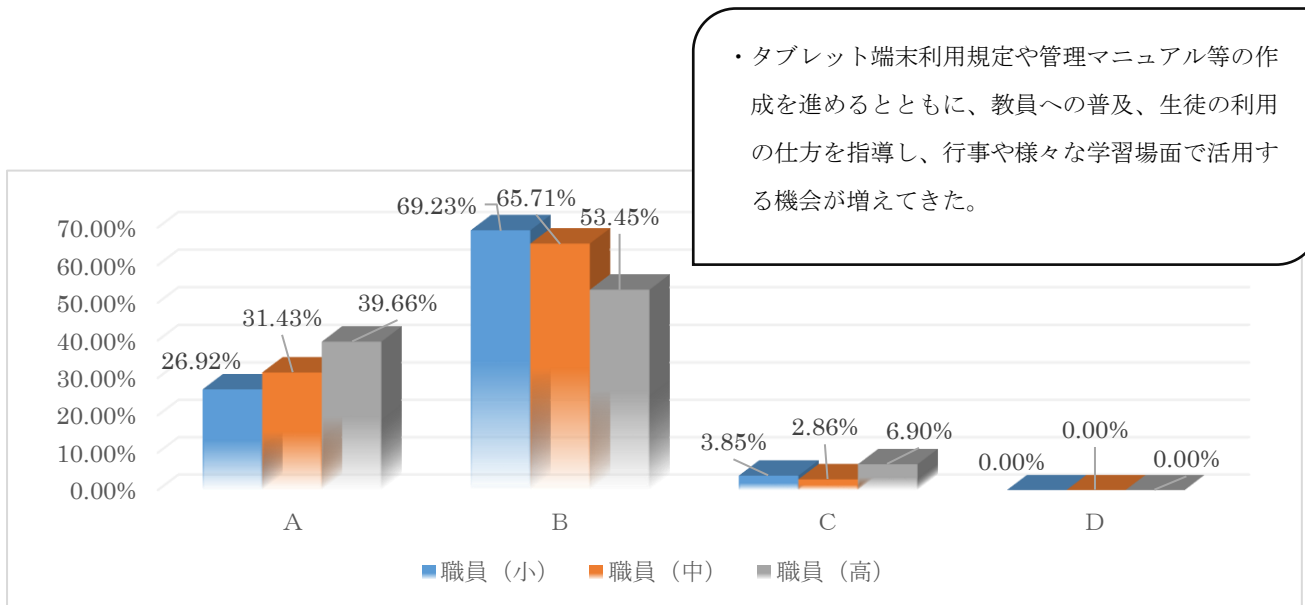
17【専門的知識の向上】

職員・・・動画編集やパソコンデータ入力などの技術向上に向けた研修を実施しています。



18【授業への活用】

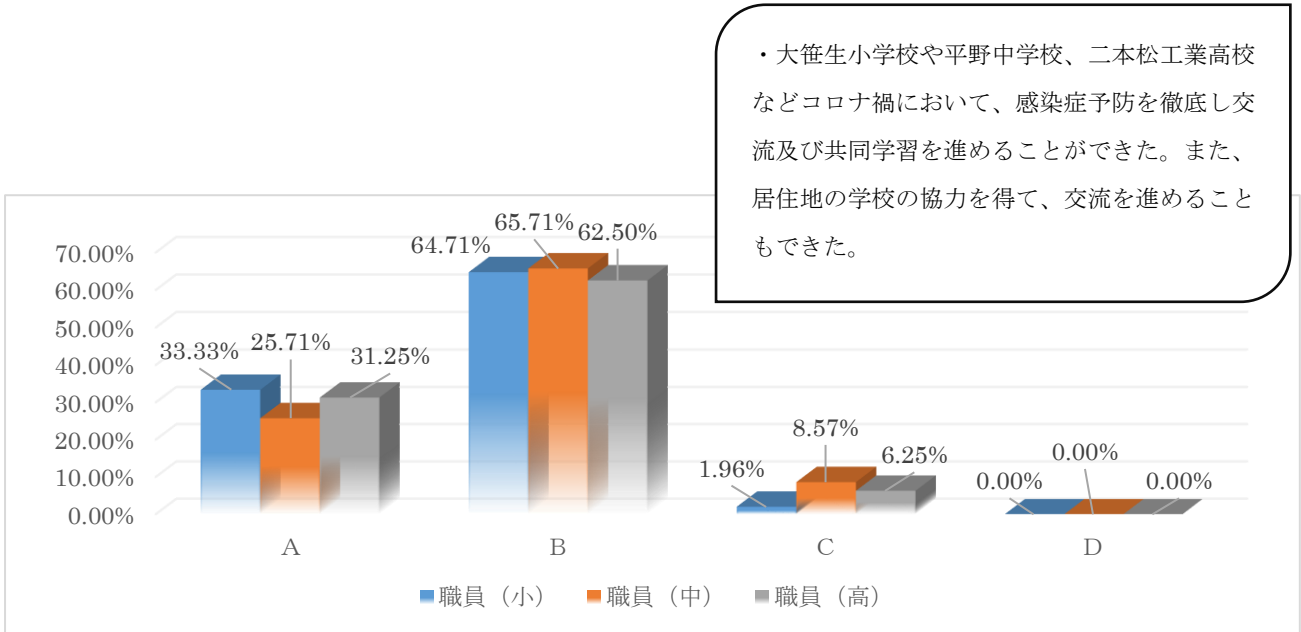
職員・・・タブレットなどを授業に活用し、児童生徒が興味・関心を持って授業に取り組めるよう指導の充実を行っています。



教育支援

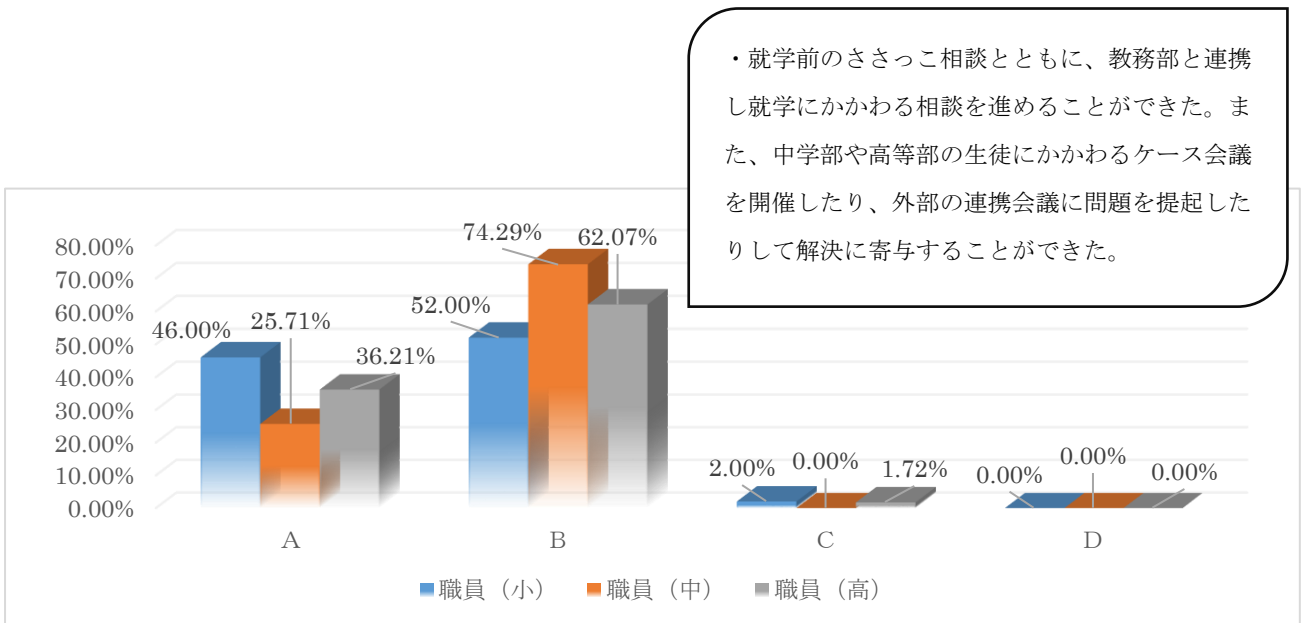
19【地域との連携、協働】

職員・・・交流及び共同学習において、特に居住地校交流に取り組んでいます。



20【教育相談の充実】

職員・・・地域支援センター「ささっこ」は、地域で生活する特別な支援を必要とする幼児、児童生徒及び保護者等の相談を行っています。

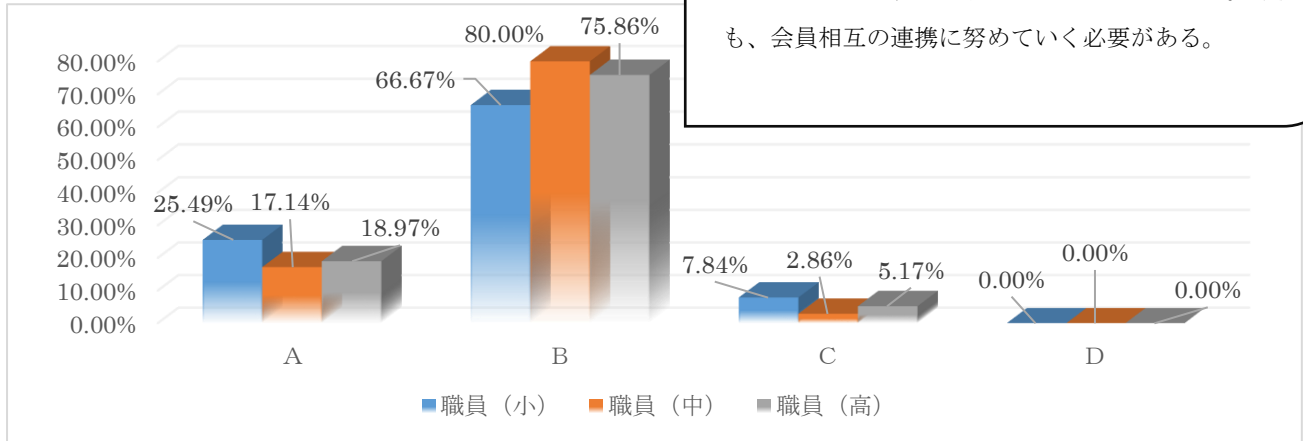


渉外

21【地域交流・地域貢献の推進】

職員・・・PTA奉仕作業を実施し、会員間や地域との交流を図っています。

・コロナ禍でPTA行事が中止や延期となるものもあったが、計画に沿って進めることができた。
・奉仕作業では、保護者と児童生徒と一緒に取り組む計画であったが、実施することができなかった。今後も、会員相互の連携に努めていく必要がある。



22【会員間相互の連携・協働】

職員・・・キャリア支援部と連携した「進路座談会」「事業所見学」や講師を招いての「親睦会」、県知P連事務局校として研修会を実施し、会員間相互の教養を深めています。

・「事業所見学」など中止の行事もあったが、「進路座談会」を実施し、進路についての教養を深めることができた。
・県特別支援学校知的障がい教育校PTA連合会では、リモートによる研修会を実施した。後日、本校の保護者を対象にしたビデオ視聴の機会を設けたりするなど工夫して進めることができた。

